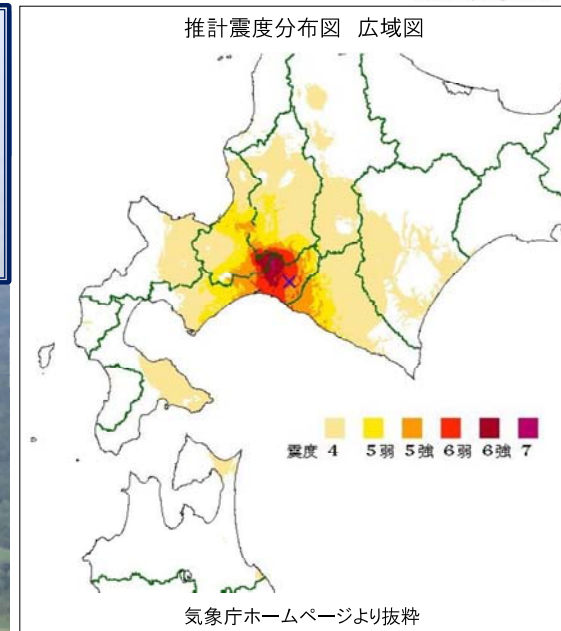


平成30年 北海道胆振東部地震による被災状況

- 9月6日3時7分に北海道胆振地方中東部の深さ37kmでM6.7の地震が発生
- この地震の発震機構は、東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生
- 厚真町で震度7※、安平町、むかわ町で震度6強、札幌市東区、千歳市、日高町、平取町で震度6弱を観測したほか、北海道から中部地方の一部にかけて震度5強～1を観測
(※ 北海道で史上初の震度7を観測)
- 道内の広範囲で甚大な被害が発生 (R元.9.5現在)
 - ・ **人的被害：死亡44** (札幌市3、苫小牧市2、厚真町37、むかわ町1、新ひだか町1)
 - ・ **建物被害：全壊479** (札幌市99、江別市1、千歳市1、北広島市17、厚真町233、安平町93、むかわ町32、日高町3)
 - ・ **非住家被害：全壊1,213** (札幌市7、江別市4、厚真町682、安平町343、むかわ町177)
 - ・ **土砂災害：227箇所** (札幌市5、恵庭市2、千歳市1、三笠市2、厚真町201、安平町3、むかわ町6、平取町4、日高町3)



厚真町の大規模な山腹崩壊状況 (幌里地区)

震度7の地震により、広範囲で山腹崩壊などが発生



震度7	厚真町
震度6強	安平町、むかわ町
震度6弱	札幌市東区、千歳市、日高町、平取町
震度5強	札幌市清田区、白石区、手稲区、北区、苫小牧市、江別市、三笠市、恵庭市、長沼町、新ひだか町、新冠町
震度5弱	札幌市厚別区、豊平区、西区、函館市、室蘭市、岩見沢市、登別市、伊達市、北広島市、石狩市、新篠津村、南幌町、由仁町、栗山町、白老町

被災前後の状況 (厚真町 吉野地区)



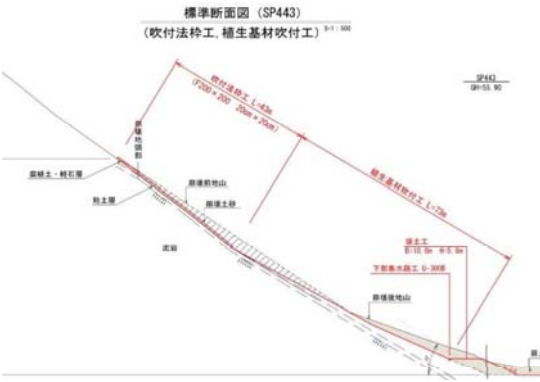
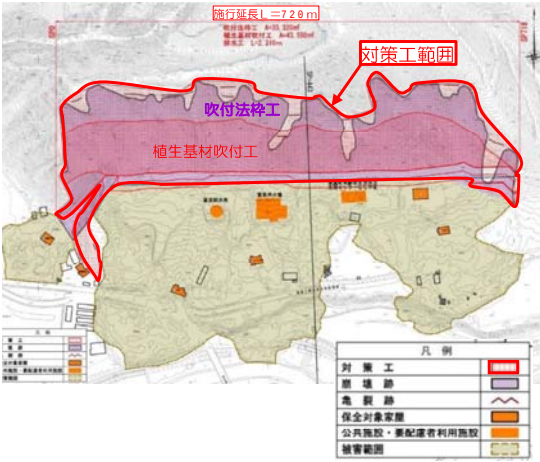
被災前後の状況 (厚真町 富里地区)



【厚真富里地区】災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業



対策工平面図



※ 残留土塊を除去し、斜面下作業の安全を確保。

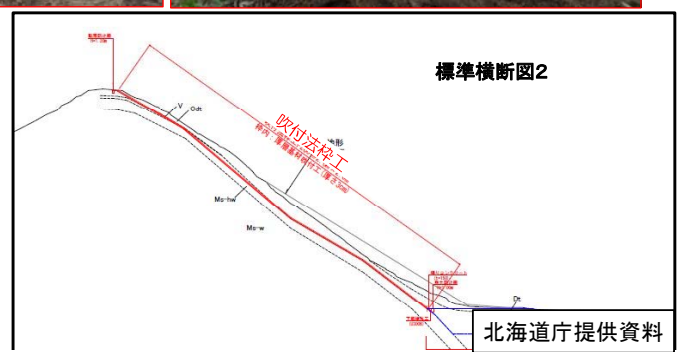
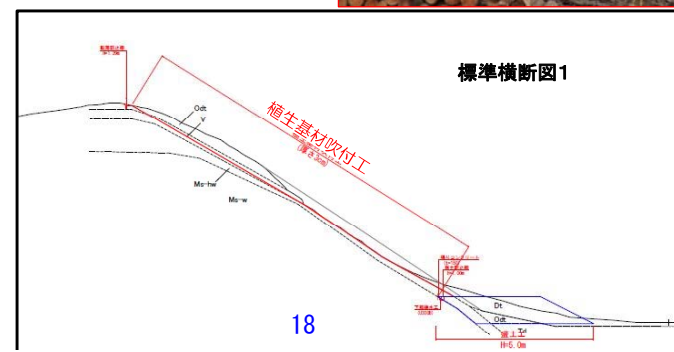
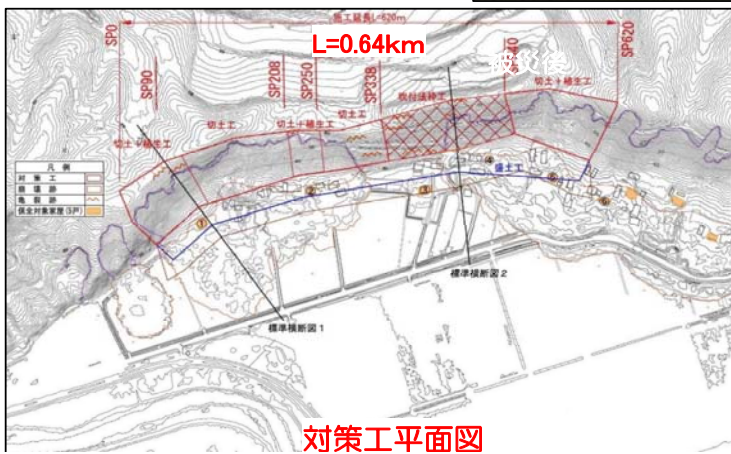
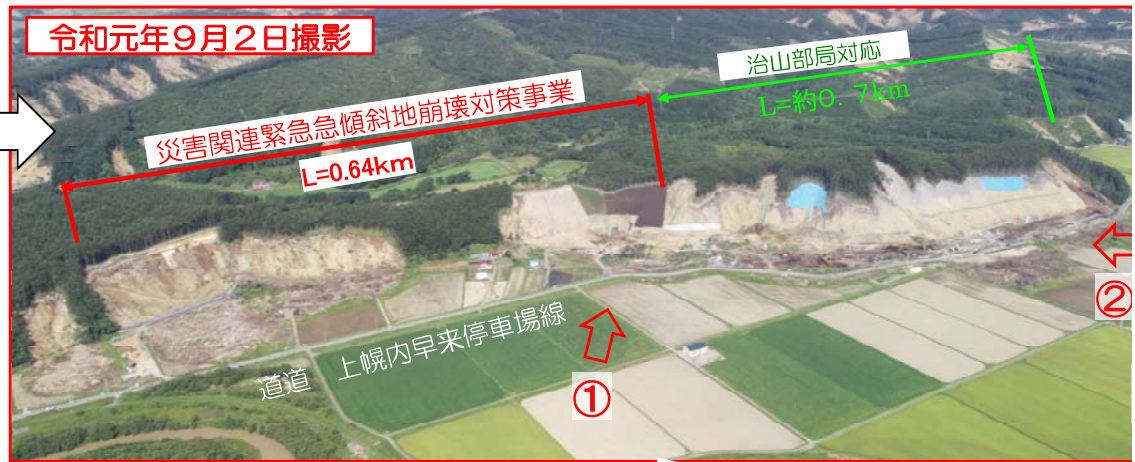


厚真町富里地区		復旧スケジュール																																			
事業	費 目	平成30年度												平成31年度(令和元年度)												令和2年度											
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
(一) 斜面対策	調査設計等																																				
	仮設工事	工事用道路工・残留土塊除去等																																			
	斜面対策工事	斜面対策工事																																			
(二) 浄水場	被害箇所調査設計																																				
	本復旧工事	本復旧工事 運転調整																																			
(三) 土砂災害の対策	本工事	堆積土砂除去																																			



北海道庁提供資料

【厚真古野地区】災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業





○災害の概要

災害日時：平成30年9月6日発生（平成30年9月6日3時7分発生 平成30年北海道胆振東部地震）

災害箇所：北海道勇払郡厚真町字東和（東和地区B）

災害状況：地震により山腹崩壊が発生し、斜面下方の農地や町道へ立木を含んだ土砂が堆積した。

○復旧工事の概要

工 事 名：東和地区Bその2災害関連緊急治山工事

工 種：山腹工（土留工、水路工、法枠工等）

契約月日：平成31年3月25日

請 負 額：399,060千円

工 期：平成31年3月26日～令和2年3月23日

東和地区B復旧スケジュール

事業	費目	平成30年度							平成31年度											
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
山腹対策	調査設計等																			
	先行工事																			
	山腹対策工事																			

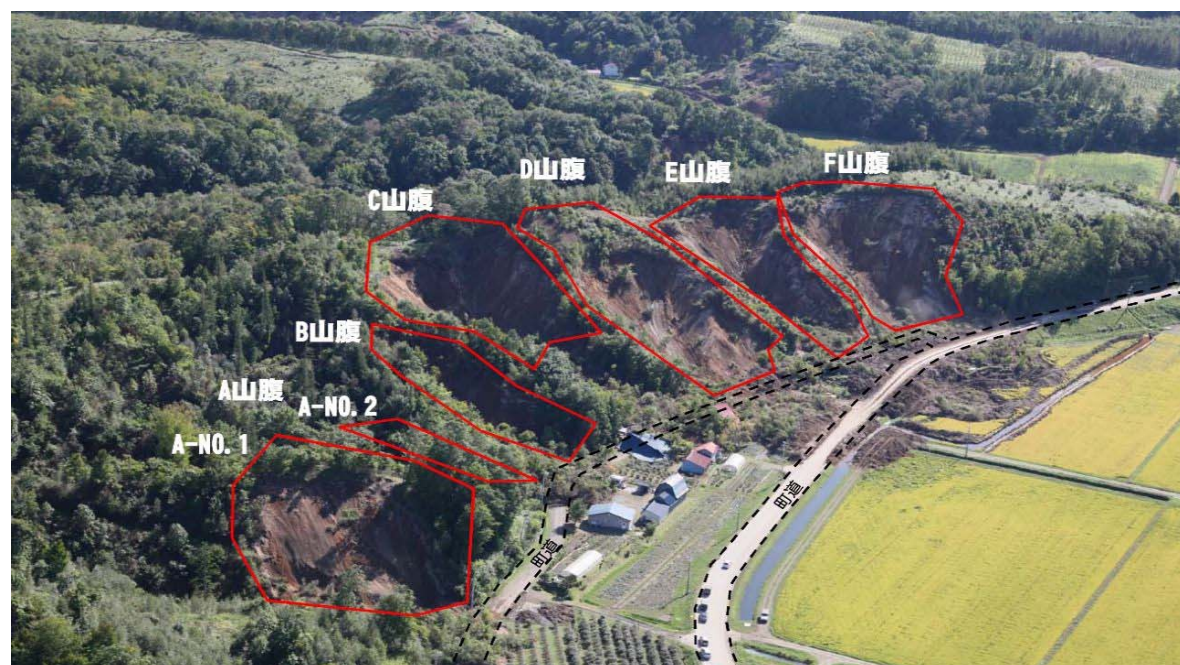
○復旧の方針

平成30年11月に堆積土や倒木の除去等に係る応急工事を先行実施。

山腹内には、今後の余震や降雨による再崩壊によって流出の危険が高い不安定な土砂が残っていることから、それらを防止する目的として、山腹対策（土留工、水路工、法枠工等）を実施し斜面の早期安定を図る。

○現在の状況

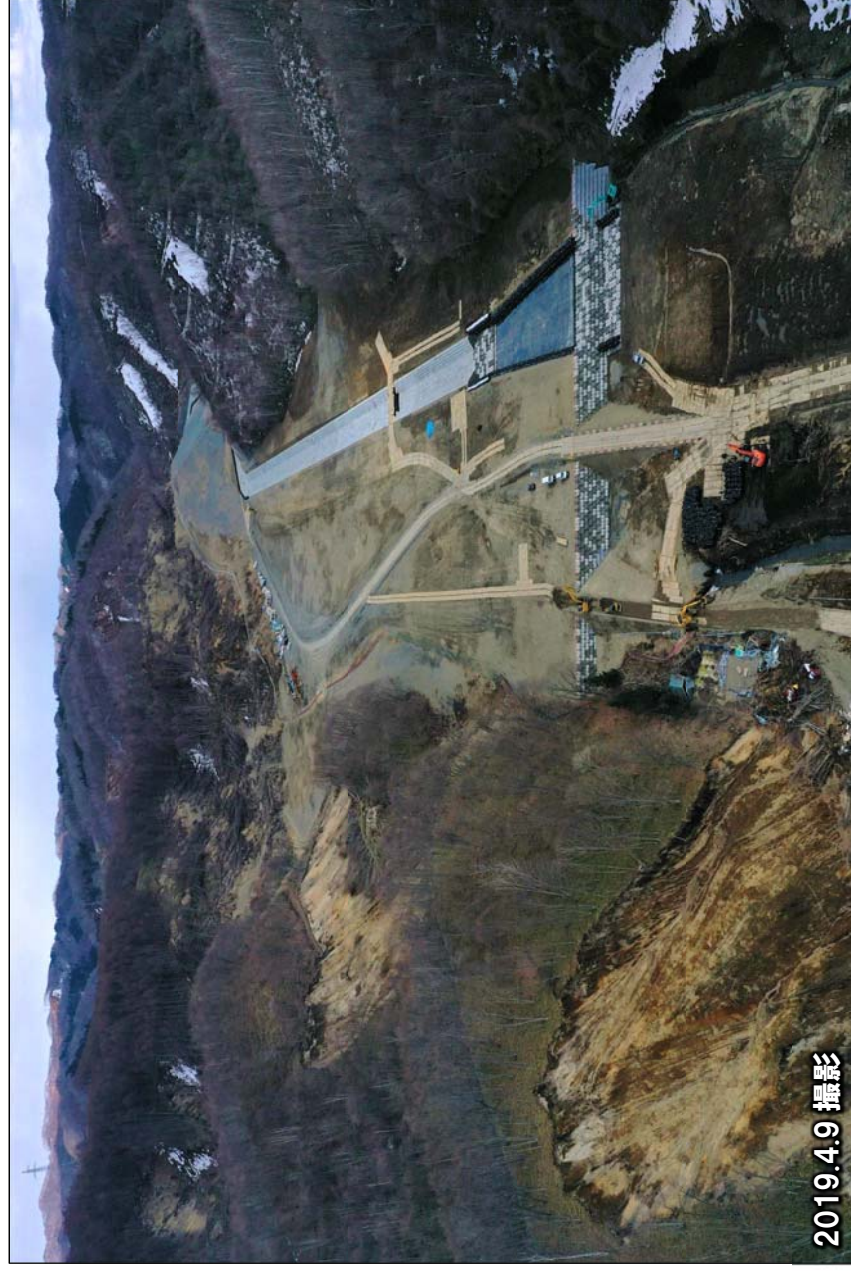
5月中旬まで仮設工（階段、防護柵、敷鉄板等）を施工、その後速やかに本格的な山腹対策を実施する。

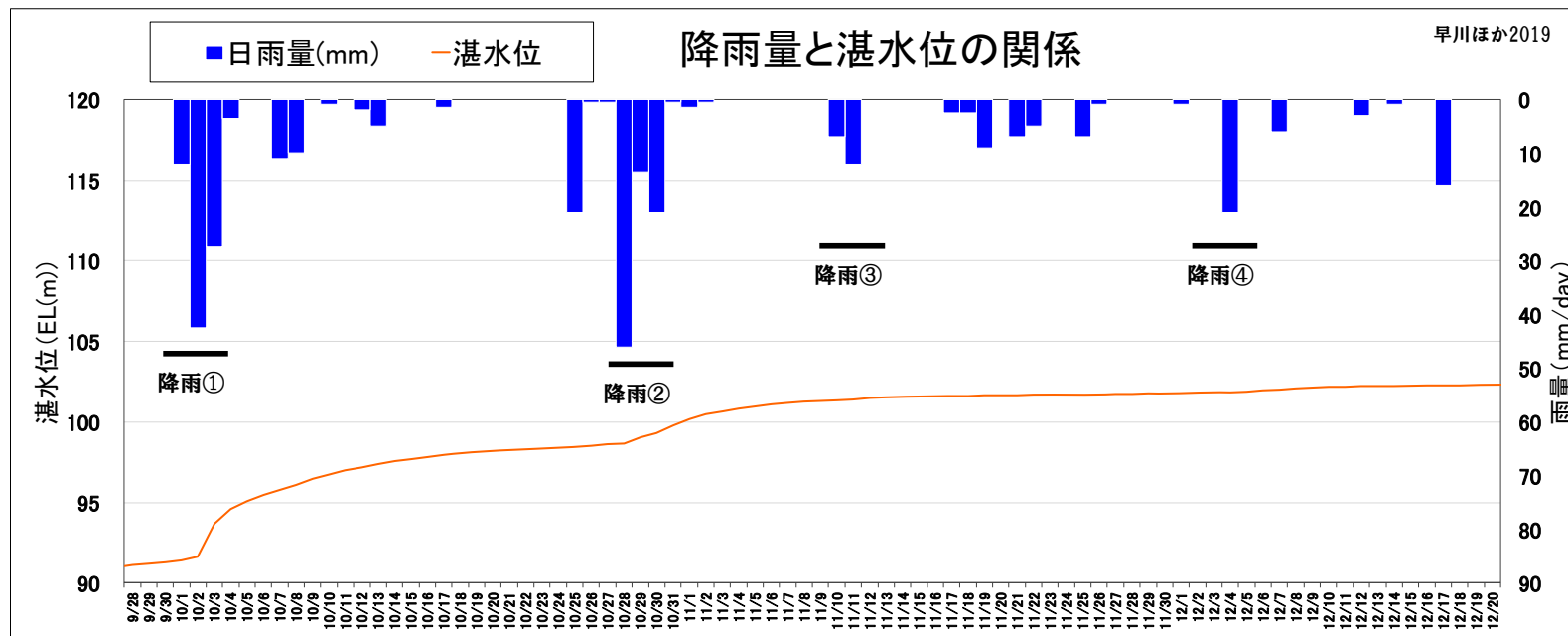




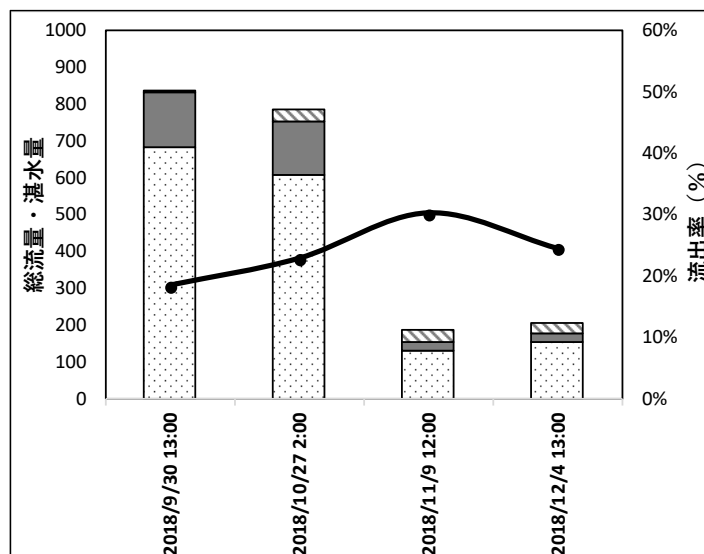
日高峯内川河道閉塞箇所 平面図
オルソン撮影日 2019. 4. 9

日高幌内川河道閉塞部 下流から望む鳥瞰写真

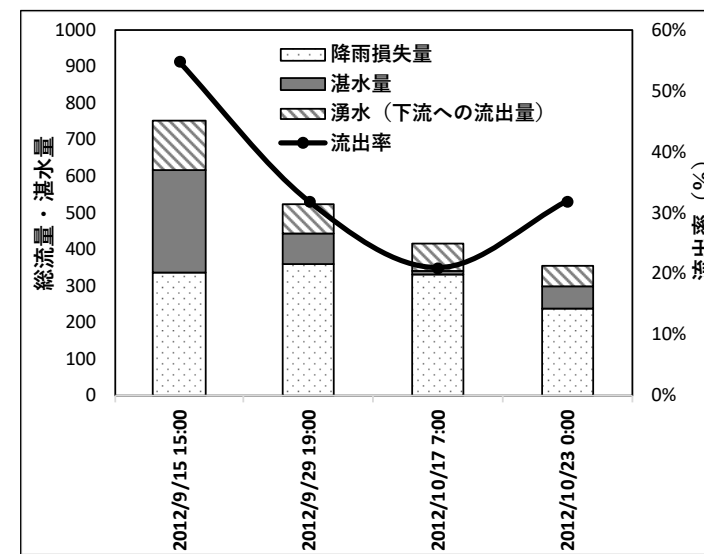




日高幌内川における降雨に対する流出状況について、降雨①～④について、総量ベースで流出率を算出したところ、降雨①では流出率18%、降雨②22%、降雨③では30%と上昇傾向にある。



降雨イベント別の河道閉塞の水収支



(参考) 平成23年台風12号に伴う河道閉塞(長殿)における降雨イベント別の水収支